

資料提供
広報取材依頼

情報提供日	令和6年6月20日
問い合わせ先	大田市 教育部 石見銀山課 (担当: 山手貴生) TEL: 0854-89-0899 FAX: 0854-89-0089

石見銀山世界遺産センター企画展の開催について

1. 行 事 名	企画展「石見銀山につながる道」
2. 目 的	世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の構成要素の一つでもある「街道」に焦点をあて、概要や価値を解説する。また、令和6年3月に開通した山陰自動車道（大田・静間道路）の建設に伴って実施した発掘調査での出土遺物も展示する。
3. 開催（実施）期間	令和6年6月26日（水）～9月23日（月） ※会期中の休館日：7月30日（火）、8月27日（火）
4. 開催（実施）時間	観覧時間 AM9:00～PM17:30（最終受付17:00）
5. 開催（実施）場所	石見銀山世界遺産センター（大田市大森町イ1597-3） 第3展示室
6. 主 催	大田市教育委員会・島根県教育委員会
7. 後 援	
8. 参加・入場者数	制限なし（常設展示の観覧料でご覧いただけます。大人400円、子ども200円）
9. 行事の内容	（全体の概要、特徴的なものなど） （1）主な展示資料 ①元禄石見国絵図（個人蔵）：石見国の村々の位置・街道・港湾・鉱山・主な寺社などを示した絵図。最近、大田市内の個人宅で発見された新資料。 ②灰吹銀大坂上納出役日記（個人蔵）：石見銀山街道と瀬戸内海航路を経由して石見銀山で生産した銀を大坂（阪）へ輸送した、大森代官所の役人が記した道中日記。 ③墨書土器・刻書土器、土馬：山陰自動車道（大田・静間道路）の建設に伴って実施した鯛渕遺跡発掘調査での出土資料。墨書土器・刻書土器は、墨やヘラで書かれた文字のある土器。土馬は、馬の形をした土製品 （2）会期中の関連イベント ①7月2日（火）・7月7日（日）は展示観覧料無料。 ②7月7日は、石見銀山世界遺産センターで世界遺産登録記念17周年イベントを開催する。 ・専門職員による企画展の展示解説（10:30～11:30と、13:30～14:30の2回） ・さわって体験、本物の銀（銀鉱石や、江戸時代の銀貨を触ることが出来るコーナー、10:00～16:00） 詳細は、別添のチラシを参照。
10. 特記事項	情報解禁は、6月20日（木）以降
11. その他	添付資料：チラシ2枚

2024年

6月26日(水)→9月23日(月)

※会期中の休館日:7月30日(火)、8月27日(火)

9:00~17:30 (最終受付17:00)

世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の構成要素の一つである「街道」をはじめ、大田市内における主要な「道」に関連する資料を展示します。

追越車線
2km先

限定公開

新発見の元禄石見国絵図を、6月26日~7月29日の期間限定で初公開します。

【主な展示資料】

- ・元禄石見国絵図(期間限定公開)
- ・灰吹銀を大坂に運んだ時の道中日記
- ・「旅」に関連する民俗資料
- ・山陰自動車道建設に伴う発掘調査出土資料

※開業直前の静間・仁摩道路で、許可を得て撮影

祝

山陰自動車道

(大田中央・三瓶山

一仁摩・石見銀山)

開通

令和6年度 石見銀山世界遺産センター 夏季企画展

石見銀山につながる道

[場所] 石見銀山世界遺産センター

第3展示室

[観覧料] 一般400円、小・中学生200円

(常設展もご覧いただけます。7月2日(火)、7月7日(日)は観覧無料。)

[お問い合わせ]

石見銀山世界遺産センター

〒694-0305 島根県大田市大森町イ1597-3

☎0854-89-0183 <https://ginzan.city.oda.lg.jp/>

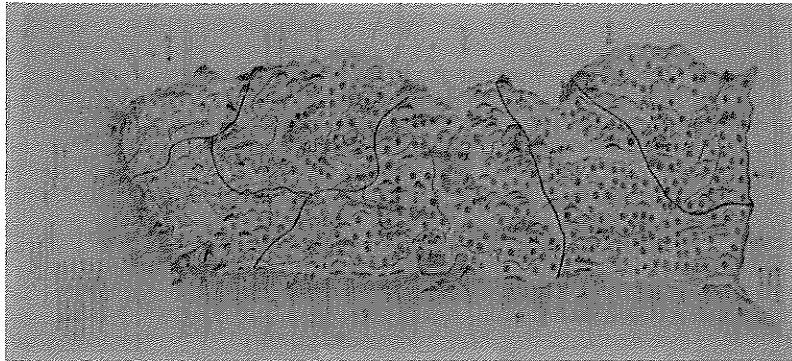


【7月7日(日)は世界遺産登録17周年イベントを開催!専門職員の企画展の展示解説もあります!】

主催:大田市教育委員会、島根県教育委員会

企画展「石見銀山につながる道」の主な展示資料

① 元禄石見国絵図（個人蔵）《新発見》



（注1）画面下が北（日本海）です。

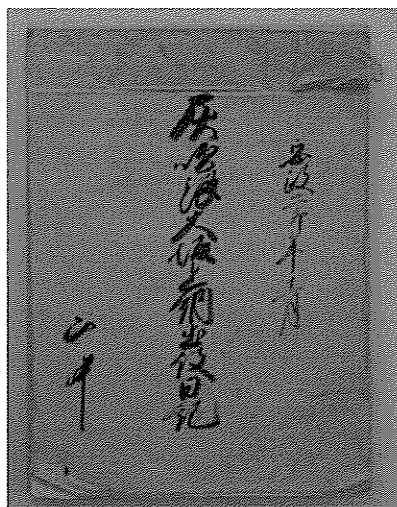
（注2）資料保護のため7月29日（月）までの展示です。

元禄13年（1700）に描かれた石見国絵図を天保15年（1844）に筆写したもの。元禄の石見国絵図は県内外に複数伝わっていますが、それぞれ地形の描き方や図示する内容が異なります。令和6年に大田市内の個人宅で発見された本図は、温泉津付近で海岸線を南に屈曲して描いており、実際の地形とは異なりますが、銀山町や温泉津の様子を丁寧に描いています。また、山陰道、石見銀山街道など主な道を赤い太線で示しています。



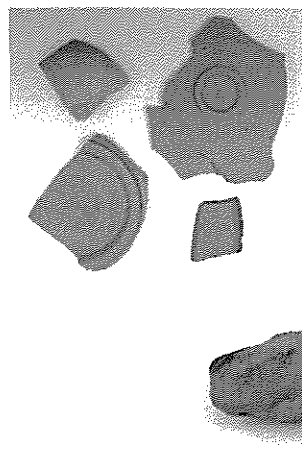
石見銀山周辺の拡大（一部加工）

② 灰吹銀大坂上納出役日記（個人蔵・大田市教育委員会寄託）



安政2年（1855）に石見銀山街道と瀬戸内海を経由して石見銀山で生産した銀を大坂まで運んだ、大森代官所の役人・山中文三郎が記した往復の道中日記。出発前の準備の様子や、輸送途中に経由した宿場で現地の役人と面談した時の配席図など、担当者でなければ知り得ない情報を細かく記録しています。銀輸送の実態を伝える貴重な古文書です。

③ 墨書土器・刻書土器・土馬（大田市教育委員会所蔵）



写真上：墨書土器・刻書土器

写真下：土馬（馬の形をした土製品）

大田・静間道路の建設に伴い実施した鯛淵遺跡（大田市静間町）での出土品（奈良時代～平安時代）。土器には「大」「郡」「司」などの文字が確認できます。土馬は、頭の部分が失われていますが、四本の脚と尻尾の痕跡があります。これらの遺物と静間川近くという遺跡の立地を総合して考えると、河川管理に関する公的な施設が存在していたと推定されています。